

平山城址公園マネジメントプラン(案)

令和 8 (2026) 年 1 月
東京都 建設局

目次

はじめに

I 公園の概要	2
1 都市計画の概要	
2 開園の概要	
3 主な公園施設	
4 成り立ち・基本的な性格	
5 周辺の土地利用・自然環境	
6 利用概況及び特色	
7 整備計画等	
II 目指す姿及び重点取組、ゾーン別基本方針	5
1 目指す姿及び重点取組	
2 ゾーン別基本方針	
III 図面・写真	9
現況平面図	
周辺土地利用図(空中写真)	
周辺土地利用図(地図)	
園内の写真	
IV 資料編	12
公園の沿革	
マネジメントプラン策定履歴	
利用状況等データ	
主な催し物	
主な活動団体	
関連する行政計画等	

はじめに

公園別マネジメントプランは、都立公園全体の整備・管理運営の指針として、東京が目指す公園づくりの方向性を示すパークマネジメントマスタープランに基づき、公園ごとの性格・役割を踏まえて各都立公園の10年程度の目標や維持管理・運営管理等の取組方針を定めたものです。

改定にあたっては、今後新たな10年間を見据えた公園づくりを目指して、「公園別マネジメントプラン（共通編）」（以下、「共通編」という。）と「公園別マネジメントプラン（個別公園編）」（以下、「個別公園編」という。）の2編構成として取りまとめています。

共通編は、全ての都立公園の質を向上させるために取り組む基本事項を明らかにし、維持管理・運営管理・公園整備の3つの視点から実施すべき取組内容を示すとともに、全ての視点に共通する4つの事項（戦略的広報、協働、リサーチとマーケティング、デジタルトランスフォーメーション）における取組内容を定めています。

個別公園編は、それぞれの公園の特性を生かした多様な公園を創出するため、公園ごとに目指す姿や重点的な取組などを定めています。

共通編と個別公園編を踏まえたマネジメントを推進することにより、都立公園全体の機能や価値を向上させていきます。

共通編は別冊となっておりますので、本冊と合わせてご参照ください。

マスタープランが示す目標の実現に向け、施策を効果的に推進していくため、取組の進捗状況の確認と検証を行いながら、適切な進行管理を行っていきます。また、取組の進捗や社会状況の変化に応じて、取組を弹力的に進めていくことが必要であり、取組の内容や目標を発展的に見直していきます。

I 公園の概要

1 都市計画の概要

名 称 八王子都市計画公園第5・5・8号平山城址公園
位 置 八王子市堀之内地内
面 積 14.70ha
種 別 総合公園
決定告示 (当初) 平成7年9月8日 東京都告示第1064号
(最終) 平成10年6月26日 東京都告示第703号

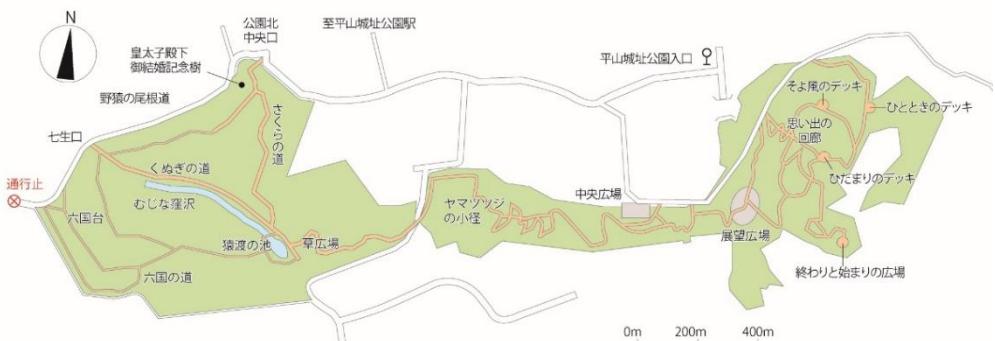
2 開園の概要

名 称 都立平山城址公園 (ひらやまじょうしこうえん)
開 園 日 昭和55年6月1日
開園面積 120,013.58 m² (令和7年11月1日現在)
公園種別 総合公園
所 在 地 八王子市堀之内
アクセス 京王線「平山城址公園」、京王バス京王堀之内行き又は東京
　　薬科大行き「平山城址公園入口」

3 主な公園施設

六国台、猿沢の池、草広場、ヤマツツジの小径、中央広場、
展望広場、終わりと始まりの広場

園内マップ



4 成り立ち・基本的な性格

本公園は、南多摩地域に位置する丘陵地公園である。公園の東側には多摩動物公園や八王子堀之内里山保全地域、西側には長沼公園が連続し、多摩丘陵北部近郊緑地保全区域と都立多摩丘陵自然公園に指定されている。

南に傾斜した公園内には東西に2つの谷が形成されており、谷には湧水による小さな池がある。コナラ、クヌギの雑木林の中にはヤマザクラも散在し、春には色を添える。公園の北側の尾根伝いには「ピクニックとかたらいの路（多摩丘陵コース）」が通っている。京王線平山城址公園駅からは徒歩20分の距離にある。

本園では、クヌギ、コナラを主とする里山環境の保全と回復に向けて都民やNPO等との連携を進めている。

5 周辺の土地利用・自然環境

（1）周辺の土地利用

- ・公園周辺は戸建住宅、大学、丘陵地に囲まれている。北側は、住宅地、京王研修センター、京王グランド、平山台小学校。南側は、東京薬科大学、雑木林等。東側は、民有地、八王子堀之内里山保全地域。西側は東京農工大学研究施設、雑木林である。
- ・最寄りの幹線道路は、北側の京王線に沿って都道173号と、東側丘陵地を南北に走る都道155号である。
- ・最寄りの鉄道駅は京王線平山城址公園駅で、長沼駅、多摩動物公園駅からハイキングコースを使ってのアクセスも可能である。
- ・尾根伝いにハイキングコースが設けられている。・公園周辺の歴史・文化施設として、鎌倉初期に源氏の武将として活躍した平山季重にかかる神社、仏閣、居館跡の碑等がある。

（2）自然環境

- ・地形は、東西に2つの谷が形成されており、標高が西部で138～174m、中間部で138～160m、東部で120～180mである。尾根と谷の標高差は30～60mで、地向は全体に南向きである。2つの水系は、少量ではあるが、年間を通じて湧水がある。
- ・植生は、コナラが優先する林分がほとんどであるが、一部にクヌギが優先する林分が見られる。また、尾根筋にはアカマツの混生する林分も見られる。高木層はコナラ、クヌギ等、亜高木層はアカシデ、ヤマザクラ等、低木層はムラサキシキブ、コバノガマズミ等、草本層はアズマネザサ、チゴユリ等が多くみられる。貴重種のノハナショウブと注目種としてタマノカンアオイが確認された。
- ・本公園の丘陵部を覆う雑木林は、丘陵下部のまちや隣接する平山台住宅などにとって都市景観を構成するエッジや背景のスカイラインとしての役割を持つ。

6 利用概況及び特色

地域の利用者の割合が多く、主に散策や休息等に利用されている。季節毎に行われるレンジャーと共に歩くイベントにも多数の参加者がある。

①六国台

西園の西側にある展望台。関東山地が遠望できる。

②猿沢の池

湧水による小さな池。

③ヤマツツジの小径

西園と東園を結ぶ尾根筋にある。

④展望広場（東園）

富士山も眺望できる。

7 整備計画等

(1)新規整備の取組方針

本公園の計画区域のうち、未供用区域の事業化については、原則、「都市計画公園・緑地の整備方針」（令和2年7月、東京都・特別区・市町）に設定した「優先整備区域」について行うものとし、令和11年度までに事業化を図っていく。

なお、事業化の対象区域は、概ね次のとおりであるが、今後の改定により見直されることもある。また、整備にあたっては、本公園の役割等を踏まえ、基本計画等に基づいて行っていく。

- 1) 優先整備区域「事業促進区域」：該当なし
- 2) 優先整備区域「新規事業化区域」：19,000 m²

八王子市堀之内

注)「事業促進区域」：既に事業認可を取得済の区域（用地未取得地含む）

「新規事業化区域」：新たに事業認可を取得する区域

II 目指す姿及び重点取組、ゾーン別基本方針

1. 目指す姿及び重点取組

目指す姿

平山城址の歴史や自然、景観を生かし、魅力を高めるほか、生物多様性の保全等の取組を進め、豊かな自然を感じられる、多摩丘陵の樹林に連なる、魅力あふれる公園としていく

この目標を達成するため、本公園では次のことについて重点的に取組んで行く。

なお、各取組の具体的な内容等については、事業計画等の作成時にそれぞれ設定し、マネジメントサイクルのなかで見直しを行っていく。また、各項目及び施策名はパークマネジメントマスターplanと連動している。

重点取組

(1)公園整備による緑の保全

【施策1 緑と環境をまもる】

- 創出してきた丘陵地公園の緑を健全に育成するとともに、公園の新規整備を進め、雑木林等の豊かな自然を有する丘陵地の緑を公園として保全・確保します。

- 雜木林管理等のボランティアや樹木診断の体験、発生材を活用した工作イベント等を行うこども向けのグリーンスクールなど、幅広い年代の都民に公園の緑を知り、ふれあう機会を提供し、緑の創出や保全への意識を高める取組を推進します。

(2) 生物多様性の保全と回復

【施策1 緑と環境をまもる】

- 多様な生物の生息空間やエコロジカルネットワークの拠点として、樹林や水辺等について生物の生息環境の整備を行い、モニタリング等を継続しながら順応的な管理を実施します。公園の特色に応じた希少生物種の保全や特定外来生物対策、生物情報の蓄積などに取り組みます。
- 観察会等の自然と親しみ、ふれあうイベントの開催やこどものための環境教育プログラムの実施等を通じて、生物多様性の保全に向けて理解を深める取組を推進します。

(3) 公園の拡張整備の推進

【施策5 公園をふやす】

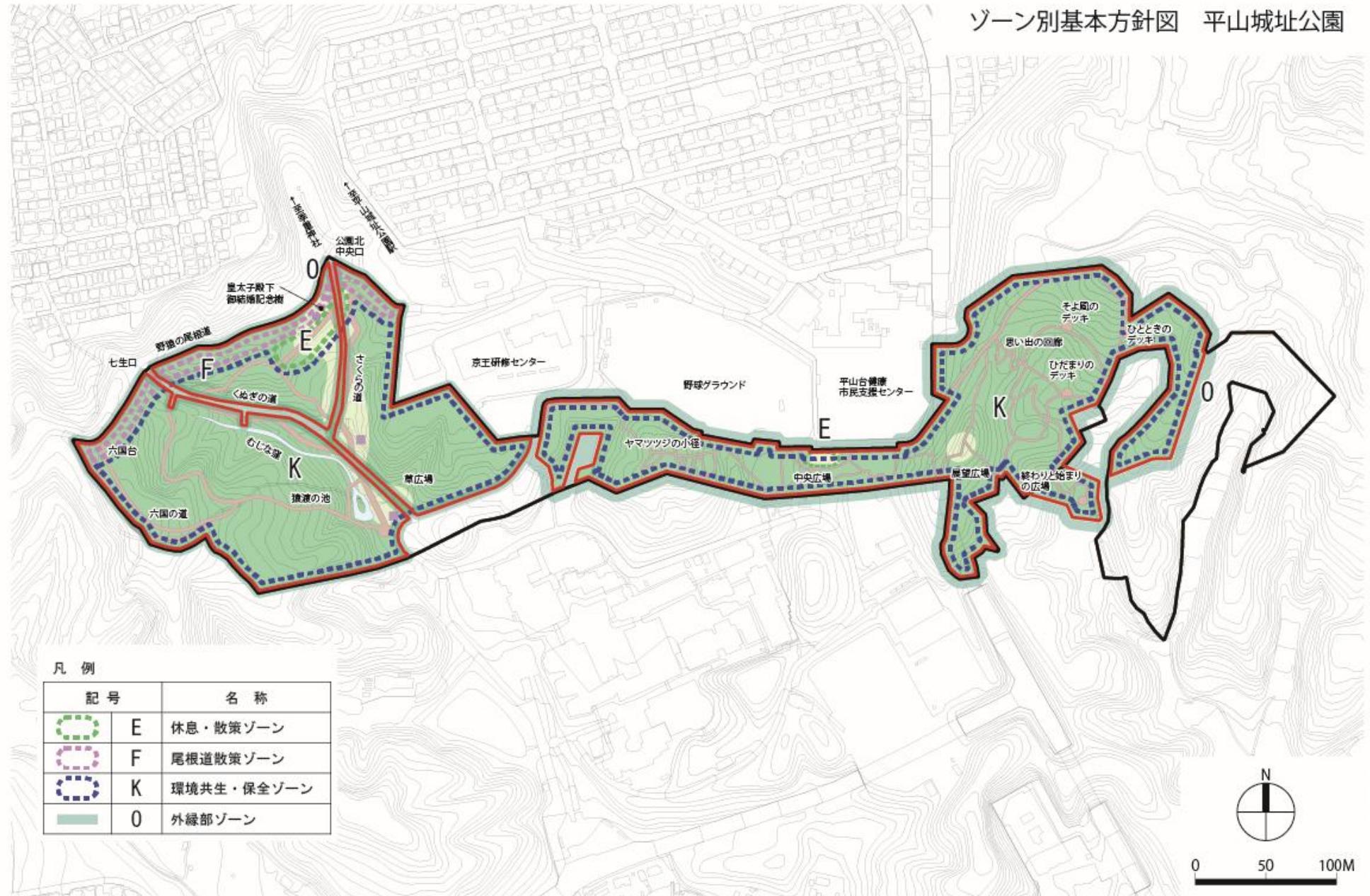
- 「都市計画公園・緑地の整備方針」に基づき、市街地から丘陵地にわたり新規公園の整備・開園や既設公園の拡張整備を進め、東京の緑の骨格に厚みとつながりを持たせるとともに、水と緑のネットワークの充実を図ります。

(4) 計画的・効果的な事業化

【施策5 公園をふやす】

- 都市計画公園・緑地について、防災や環境、レクリエーション等の観点から重要な箇所等を優先して事業化を進め、整備効果を早期に発現させます。

2. ゾーン別基本方針



この地図は、国土地理院の承認(平29簡公第444号)を得て作成した東京都 地形図(5=1:2,500)を使用(7都市基文第365号)して作成したものである。無断複製を禁ずる。

■ゾーン別基本方針

管理運営や改修整備等を重点的・効率的に実施していくために、園内の各ゾーンについて現況等も踏まえ機能・目的・自然的環境等により類型化し、ゾーン毎の基本方針を定める。

なお、ゾーン別基本方針は、原則として開園区域を対象に定めるものとし、新規開園区域があった場合は整備内容等を踏まえ、必要に応じ追記等を行う。

記号	区分	基本方針
○	外縁部ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・民有地や公道などに接する公園外縁部 本公園の外縁部は、隣接する民有地等と直接境界を接する所が多い。境界を接している所では、隣接地に対して良好な景観の提供を図るほか、落ち葉や落枝、越流水などに対応していく。

記号	区分	基本方針
E	休憩・散策ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・メインの入口に近い広場や中央広場のあるゾーン トイレやベンチのある広場であり、安全で快適に利用できるよう対応していく。
F	尾根道散策ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・野猿の尾根道のあるゾーン 公園の北側を東西に走る尾根上の散策路であり、ハイキングなどの散策路として、安全で快適に利用できるよう対応していく。身近にある自然についての情報を発信していく。
K	環境共生・保全ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・雑木林などのあるゾーン 生物多様性を確保するため、樹林地の自然環境を保全していくとともに、散策路を整えることで、四季折々の彩りのある姿を見せるよう工夫し、自然観察や散策、休息などの利用に対応していく。また、生物の生育・生息空間となっている湧水や池などの水環境の保全・回復を図る。

III 図面・写真

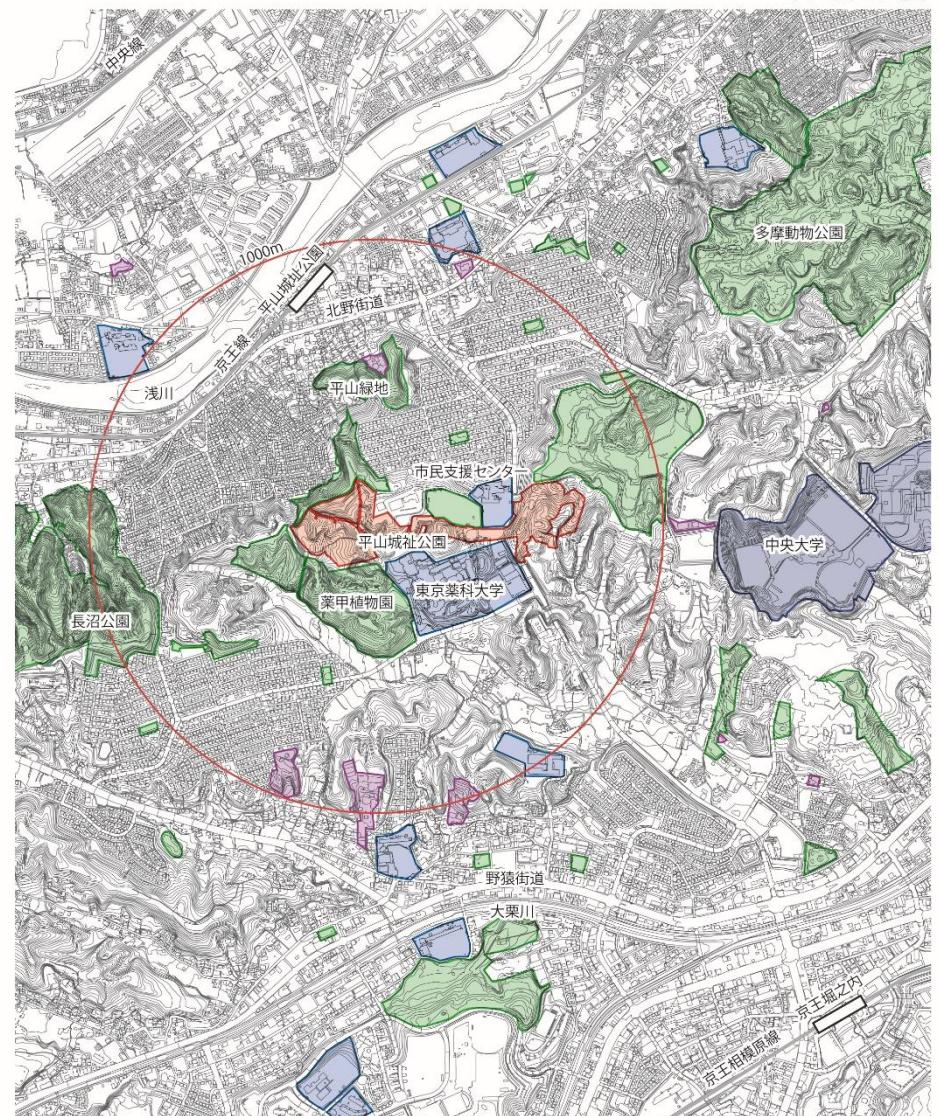
【現況平面図】



周辺土地利用図(空中写真)



周辺土地利用図(地図)



園内の写真



公園北中央口



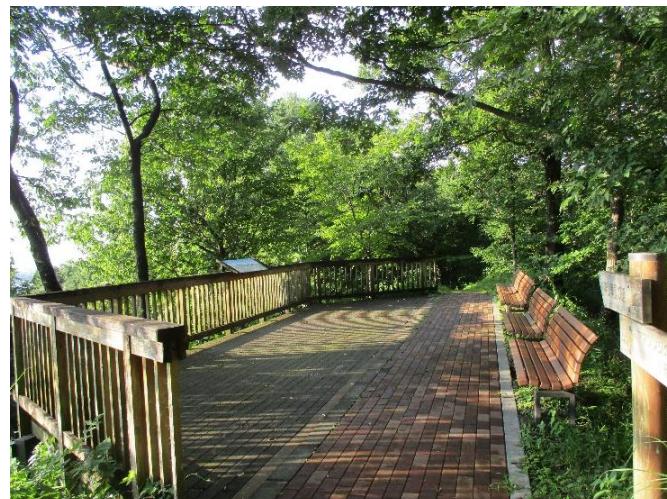
草広場



桜の道



東入口広場



展望広場



猿渡の池

IV 資料編

■公園の沿革

- 昭和 25 年 11 月 東京都告示第 936 号で、自然公園法の規定により多摩丘陵自然公園として指定
- 昭和 29 年 多摩丘陵自然公園の一角にハイキングコースの中継地点として京王帝都電鉄(株)が「平山城址公園」を開設
当時は、売店、無料休憩所、レストハウス、平山資料館、野外ステージ、遊具等の施設が設けられ、当初計画では約 3 万坪 (10ha) に及ぶものであった。
- 昭和 42 年 4 月 首都圏整備委員会告示 1 号で首都圏近郊緑地保全法の規定により、多摩丘陵北部近郊緑地保全区域に指定
- 昭和 50 年 5 月 東京都は同公園跡地の大部分（一部は京王研修センタ一敷地となっている）を保全緑地として用地取得
- 昭和 52 年～54 年 園路、池、便所等の施設整備を行った。
- 昭和 55 年 6 月 6.5ha を開園
園名については既に都民に親しまれている京王帝都電鉄(株)時代と同様の園名とした。
- 平成 7 年 9 月 東京都告示第 1064 号により、都市計画決定 (12.0ha)
- 平成 10 年 6 月 東京都告示第 703 号により、都市計画変更 (14.7ha)
- 平成 16 年 6 月 501 m²を追加開園
- 平成 21 年 6 月 1.4ha を追加開園、園路整備やデッキの設置
- 平成 22 年 6 月 0.7ha を追加開園、園内東部の土系舗装や擬木階段を整備
- 平成 23 年 6 月 2.9ha を追加開園、土系舗装や擬木階段を整備
- 平成 24 年 6 月 0.5ha を追加開園

■マネジメントプラン策定履歴

平成 16 年 8 月 パークマネジメントマスター プラン策定
平成 18 年 12 月 平山城址公園マネジメントプラン策定
平成 22 年 3 月 平山城址公園マネジメントプラン改定
平成 27 年 3 月 パークマネジメントマスター プラン改定
平山城址公園マネジメントプラン改定
令和 4 年 3 月 平山城址公園マネジメントプラン改定
令和 6 年 3 月 パークマネジメントマスター プラン改定
令和 8 年 3 月 平山城址公園マネジメントプラン改定

■利用状況等データ

1)年間利用者数の推移

	6 年度	5 年度	4 年度	3 年度	2 年度
年間総計 (人)	24,644	20,367	33,862	78,925	71,975

2)月別利用者数の推移

6 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
年間総数 (人)	1,311	1,863	2,091	1,648	1,288	1,119
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	1,788	2,590	2,953	2,263	2,588	3,142

■主な催し物(令和6年度実施分)

種別	No.	事業名	実施期間	参加人数(人)
イベント	1	【里山さんぽ自然観察会】長沼・平山城址公園を歩こう	5月16日(11人)、11月12日(21人)	32
	2	【さとやまっこくらぶ】キッズレンジャー体験	9月23日	8
都民協働	1	【丘陵地レンジャーお助け隊】	11月16日(7人)、12月8日(12人)	19
	2	パークミーティング	3月10日~31日	11
自主事業	1	【歴史さんぽ】平山城址歴史探訪ツアー	3月22日	11
	2	【たまQカルチャー】自然観察会ぶらす	3月16日	—
	3	【たまQカルチャー】自然観察会ぶらす	7月13日	14

■主な活動団体(令和6年度調査)

団体名	活動内容	人数(人)
丘陵地ボランティア	丘陵地レンジャーの活動支援、園内巡回清掃活動、雑木林管理、野草等保全調査活動、イベント開催ほか	26

■関連する行政計画等

- ・2050 東京戦略（令和7年3月）
- ・新たな都立公園の整備と管理のあり方について（答申）（令和5年6月）
- ・都市づくりのグランドデザイン（平成29年9月）
- ・東京都景観計画（平成30年8月）
- ・東京都福祉のまちづくり推進計画（令和6年3月）
- ・緑確保の総合的な方針（改定）（令和2年7月）
- ・都市計画公園・緑地の整備方針（令和2年7月）